

## 名松線事故で新聞記者もあきれるJR東海の安全姿勢！ 「社会に対してちょっと鈍感じゃないですか」

### 二度目の逸走事故で問われた企業姿勢

4月19日、名松線で発生した二度目の逸走事故に対して、4月21日に行われた定例記者会見で松本社長は会社の見解を述べました。

原因について、「乗務員が必要な出区点検の手順であるブレーキ手配を行わないまま手歯止めを外して一時的に車両を離れたことが原因と考えられる」と、運転士が正しいルールを守らなかったことが事故原因であることを強調しました。

### 沿線住民に謝罪する意思は全くなし

席上、記者から「沿線住民は非常に不安を抱いて、JR東海に不信感を持っていると思われるが、幹部自らが進んで沿線住民に謝罪したのか」と問われたことに対して、松本社長は「私がこういう場で話したとおりです」と、沿線住民へ直接謝罪していないこと、また、謝罪する意志のないことを明らかにしました。記者から「社会に対してちょっと鈍感じゃないですか」と揶揄される始末でした。

### 経営協議会で安全姿勢を追求！

4月23日に「安全対策の推進について」の経営協議会が開催されました。私たちは「まず第一に地域住民に謝罪をするべきである。謝罪をしなければJR東海の信頼が損なわれる」と迫りました。しかし会社は、「関係した社員がやるべきことをやっていなかったということは事実だ」として、事故原因が社員にあることを強調し、そして、謝罪については「世の中にお知らせをして行く」と、全く地域住民に謝罪をする意志のないことを繰り返しました。一度ならず二度までも、車両の逸走を発生させた企業としてこのような姿勢は許されものではありません。

JR東海労は、この経営協議会で改めて、車両の逸走の危険のある駅に安全側線を設けること、列車に停止装置を設けることを強要求しました。

**JR東海は地域住民に謝罪せよ！**